

かわらばん すまし屋ハウズ

2021-10
VOL.
268

発行
有限会社
大和久建築
TEL 0475 (22) 4148
茂原市高師 4 7 6

一般人参加型クイズ番組最後の砦『アタック 25』が、この9月を以て放送終了。46年も続いた人気番組だけにファンとして一寸残念。インターネット動画配信等がTV視聴離れを招いてはいるものの、優良な番組制作への奮起を期待しています。

☆今月の一言【危急存亡の秋】危険が目前に迫り、生き長らえるか滅びてしまうかの岐路に立たされている重大な時。温暖化問題が逼迫する昨今、エネルギー大量消費を及ぼす『文明の利器』に依存しない社会を築きたいものです。

みるきくまなぶ 交遊録

世界に類を見ないほど時間に正確と聞く日本の鉄道網。事故や災害などで運行停止やダイヤの乱れが生じたとき、その便利さとありがたさに気付くことでしょう。各々の路線で、車両の性能や路線の特徴・景観など、世界に誇れる何かを持ち合わせているかもしれません。

1988年（昭和63年）の一部区間（スポーツセンター駅～千城台駅）開業後、幾度の路線延長を経て1999年（平成11年）現在の全線開通に至る『千葉都市モノレール（愛称：タウンライナー）』。総営業距離15.2kmは懸垂式モノレールとしては世界最長。2001年6月27日にはギネス世界記録にも認定されており、今や千葉市中心部の往来や郊外への足として欠かせない存在なのではないでしょうか。

千葉みなと駅～千葉駅～県庁前駅が「1号線」、千葉駅～千城台駅が「2号線」とされており、「一度は全線を」という思いから、今年2月14日（日）乗車経験のない「2号線」の乗車へと向かいました。



椿森 KOMUNA



鉄道第一連隊トンネル工事ドーム跡

千葉みなと駅から路線下を散策し、帰りに終点の千城台駅から乗車するという行程。懸垂式という特殊な車両故、如何なる光景が飛び込むのか出発前から胸がわくわく。

楽しみの一つは駅舎巡り。モノレールという構造上の問題もあり、JR線のようなこれといった特徴のある駅は少ないが、レールの太さが車両の半分以上に見えるのは圧巻。沿線の主な施設と言えば市役所を始め千葉公園、スポーツセンター、動物公園など。時折現れる不思議な施設にも興味をそそられます。千葉駅から歩くこと約10分、樹木と木製縦格子の公園？発見。「椿森KOMUNA（コムナ）」という洋食カフェ（左写真上）で、その後テレビ朝日の「じゅん散歩」で



車内に掲げられているギネス認定ステッカー



米屋のラッピング車両 千葉みなと駅にて



スポーツセンター脇を横切るいかにも豪快なレール

も紹介。ツリーハウス等があるようで、子供から大人まで楽しめる雰囲気がありそう。千葉公園駅に差し掛かると傍らに何やらトンネルのような得体のしれない代物が…（左頁左写真下）。これは『鉄道第一連隊トンネル工事ドーム跡』という戦時中の遺産。千葉公園は旧陸軍鉄道連隊の演習場だったそう。スポーツセンターから千葉市動物公園を過ぎる辺りまでは森や溪流のある閑静な遊歩道。緑との触れ合いとせせらぎを楽しみながらのひとときは格別。その他、かなりの種類を揃えていそうな地酒屋、「洗う門には福着たる」の看板を掲げるコインランドリー、TV放送されたこともある知人の親戚が営む印章店など、街並みはなかなかユニーク。終点の千城台駅には広々とした駐輪場とショッピングセンター、付近には学校や文化ホールがあるなど人流の多さを窺わせます。



スポーツセンターを少し進んだ場所。動物公園は先に見える森の中に…



先方は急な下り坂。意外と起伏やカーブの多い路線。

車両のラッピング鑑賞も醍醐味の一つ。この日7種類は目にしていると思いますが、いざ撮影となると列車の動きは意外に早くシャッターチャンス逃すこと数多。掲載写真以外にも受動喫煙撲滅キャンペーン、保育園PR、建設関連会社の宣伝などなど。楽しみは尽きません。

思いのほか起伏やカーブの多い路線であることには驚きで、路線建設はそう容易ではなかったのではと想像します。地下鉄の計画もあったと耳にしたことがあります。車窓の素敵な景観と世界一になったことを考えたら、この懸垂式モノレールは大正解！益々の発展を期待しています。



千城台駅前。手前に駐輪所、駅舎向こうにはショッピングセンター。



博全社のラッピング車両



動物公園のラッピング車両

ざつがくの庭

足の指でうっかり突起物を蹴とばすと途轍もなく痛い。寒くなってくるとその痛みも倍増でのたうち回るほど…

さて「のたうち回る」の「のた」とは何。山中の猪には、夏になると体を冷やしたり蛇や蜂に刺されるのを防ぐため沼などで泥遊びをする習性があるという。田んぼで成長途中の稲が倒されるなどの被害もあり、江戸時代、泥浴びに来た猪の猟が行われた。その猟法を「沼田で待つ」ことから「ヌタマチ」といい、猪が沼田で泥遊びすることを「ヌタウツ」と呼んだ。これが次第に変化し「のたうつ」となり、人がもがき苦しむことも「のたうち回る」というようになったそうです。できればのたうち回るほどの痛みは経験したくないもの。お身体を大切に。

答え 1. ふれる 2. さざなみ 3. しかも 4. そく 5. それがし

読めますか？

1. 狂る
2. 連
ヒント 小波
3. 而も
4. 殺ぐ
5. 某
ヒント 自分を指す言葉

次号をお楽しみに